



岡本 聡子

社会福祉士

リリーずいぞう

大阪府富田林市の民家を借りて地域の子育て支援ひろばの運営をはじめ、二年半になります。ふらっと気

ではない、子育ての「しんどさ」を感じてきました。この「しんどさ」を体験した仲間と出会い、「こんな距離」を保つことが、児童虐待を予防する点でも大切だと、日々の活動の中で感じています。

軽に立ち寄れる場所、支援者と利用者が「FLAT」な関係でいられる空間をつくりたい、という思いを法人の名称に込めています。ひろばでは、親たちがほっと一息つける場、

今後は「支援」を一方通行の固定した関係にとどめず、ある時は支援を受けた人が、別の場面では支援する側に立つという

子育て仲間との出会いの場を提供しながら、悩みや相談を受けています。私たちが大切にしているのは、専門職として利用者を「指導」するのではなく、親子の関係、社会との関係

脱・しんどい子育て

ような、双方向の支援の仕組みづくりを考えていきたい

少子化が進む中、子育て情報やマニュアル本はあふれているのに、身近に相談相手もなく、孤立した子育てに疲れ果てている親たちが増えています。私自身、二人の娘の子育てを通して、虐待や無理心中が人ごと

ではなく、対等な視点にたった「支」に「しんどさ」を抱えている人たちが支援し合うネットワークを地域の中につくっていくことが、社会福祉士としての私の目標です。

児童福祉法改正ですべての子育て家庭を対象にした「子育て支援事業」が市町村の責務となり、私たち

（子育てネットくすくす事務局長）が市町村の責務となり、私たち

が市町村の責務となり、私たち